

Life with Culture

～西武池袋線（石神井公園—大泉学園間）高架下空間の活用に関する提案～

BR16088 諸岡和樹
指導教員 鈴木俊治

1. はじめに

1-1. 研究背景

近年、連続立体交差事業の推進によって、2030年までに連立化される鉄道路線が多く存在している。

しかし、多くの地域が新しく生まれた空間の利用方針を定められておらず、未利用の高架下空間を抱えている。

1-2. 研究目的

本研究では未利用の鉄道高架下空間に着目し、地域文化や産業を支えるための空間利用を提案し、連立化事業による間接効果の発現を考える。

2. 練馬区について

2-1. 練馬区の概要



練馬区は都市近郊農業の歴史や豊かなみどりから、みどりと農のまちとして知られている。多くのクリエイターや芸術家を輩出する芸術系大学も練馬区内にあり、多くの学生が生活している。また、子育てしやすいまち、住みたいまちとして人気がある。

2-2. アニメ文化



練馬区には「東映アニメーション」「虫プロダクション」が設立された歴史があり、当時79社の制作会社が区内に存在した。現在も103社の制作会社が区内に存在しており、多くのアニメーターが在住する。

2-3. 区民のまちづくりに対するニーズ

練馬区は「平成30年度区民意識意向調査」で区の進める28の施策に対する「必要性」と「満足度」に関する調査を行っている。

調査の結果、「医療環境」「安心・安全」「交通安全」「住まい支援」「子育て支援」「健康づくり」「地域福祉」など、**安心して暮らせるための施策**に対するニーズが高いことが分かった。

3. 設計対象地について



対象地：西武池袋線 石神井公園 - 大泉学園駅間の高架下

設計対象地は全て住居系用途地域であり、42%を第一種住居地域、54%を第一種低層住居専用地域が占めている。対象地が未利用であるのは、用途制限の影響もあることが推察される。

4. 問題提起と方針

4-1. 課題

- ◆「都市の未利用空間を活用する」
対象地は964mにわたる未利用高架下空間である。そのため、用途地域を変更し、より多様な都市生活機能を導入する。
- ◆「アニメ文化を守る」
区内のアニメ産業に従事する若手アニメーターが手頃かつ快適に住める住宅が不足している。
- ◆「区民のニーズに応える」
「医療環境」「子育て支援」「地域福祉」などの区民ニーズに対応する。

4-2. 方針

課題を踏まえ解決に向けた方針が以下である。用途地域を変更し、高架下の空間を区民のニーズ解決やアニメ業界の課題解決のために利用する。

■都市計画の課題解決
住居系だけでなく多様な機能を導入できるゾーニングをする

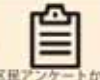
■地域の課題解決
未利用高架下空間を活用し、新しい都市機能を導入する

- アニメ業界の課題解決
低家賃でも快適な住居を設け、安心して暮らし続ける環境をつくる
- 区民のニーズ解決に応える
区民のニーズに応えることで、安心して住み続けられる環境をつくる

5. 提案

5-1. コンセプト「練馬らしさの継承と発展」

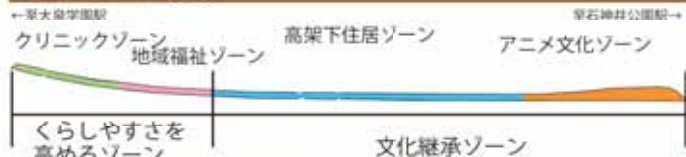
- アニメ文化
住居やアニメーター養成所を設けアニメ文化を継承する。高架構造物でPRする。
- 芸術学生の活動
高架下住居を区内芸術系学生のシェアハウスとして利用し、芸術活動を支援する。
- 都市農業とみどり
高架下を利用してマルシェ等を催し、農を通じたコミュニティづくりを進める。
- 安心して住みやすいまち
高架下を利用して、区民ニーズの高い機能を充実させ、住みやすさを向上させる。



5-2. 高架構造物を利用したアニメのまちPR

高架柱に装飾とナンバリングを行う。ナンバープレートは区内アニメ企業に制作を依頼し、PRに利用する。

5-3. ゾーニング



5-4. 暮らしやすさを高めるゾーン

- 調剤薬局
 - 診療所
 - 保育施設
 - 介護福祉施設
 - マルシェ
 - 趣味・工房
- 区民ニーズを中心に対応した機能を配置し、この地域の居住利便性を向上させる。

5-5. 文化継承ゾーン



「アニメ文化」を中心に、練馬区が誇る文化の継承へと導くための機能を配置し、区民のシビックプライドを想起させる。

5-6. SDGs

5-6-a. 暮らしやすさを高めるゾーンのSDGs

暮らしやすさを高めることで、SDGs11.住み続けられるまちづくりに貢献する。

5-6-b. 文化継承ゾーンのSDGs

■高架下住居

指標 3.8 を達成することで、間接的に SDGs1.2.10 に貢献する。

■アニメーター養成所

アニメーター志望者の教育を行う場を設け、SDGs4 に貢献する。

■ゾーンを通して

上記の貢献により、アニメ産業における SDGs8.9 への貢献につなげる。

5-7. 高架下住居

5-7-a. ターゲットとニーズ

◆メインターゲット

区内で働く若手アニメーター、区内の芸術系大学生

◆ターゲットのニーズ

- ・低家賃で安心して暮らしたい
- ・自己表現をしたい
- ・ここでしかできない経験をしたい



5-7-b. 暮らしの提案



自由に表現できる壁を用意し、高架下 演奏会のできる広場空間を設け、自己から新たな景観を生む。 表現を可能にする。

アニメーターや芸術系学生が自己表現をできる空間づくりをすすめ、そこに地域の人々が介入できるようなイベントを催すことで、文化の継承と発展を促す。

5-7-c. 住居及び周辺高架下の運営 (略図)



【図4】運営相関図

5-8. その他の提案「"Coin Parking" to "CO-in Parking"」



コインパーキングを利用し、定期的に区内農家を集めたマルシェを行うことで、都市農業の活気を保全。

6. 設計

6-1. 全体計画

ファサードのデザインをゾーニングや用途ごとに分節し、対象高架下から練馬の新しい景観をつくりだすことで「見て、歩いて楽しめる高架下空間」を目指す。

6-2. 配置計画



【図5】配置計画図

7. まとめ

本提案により、未利用高架下空間を活用して「地域の文化保全」や「暮らしやすさの向上」といった、連続立体交差事業の効果を増大させ、地域に還元する。

参考文献

・「マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方」/著 鈴木美央 (2018)・「公共R不動産のプロジェクトスタディ 公民連携のしくみとデザイン」/著 馬場正尊、飯石藍、菊池マリエ、松田東子、加藤優一、塩津友理、清水禰子 (2018)・「まちの価値を高めるエリアマネジメント」/著 小林重敬、一般財団法人森記念財団 (2018)・「写真で見る 西武鉄道 100 年」/発行人 中西一雄 (2013)